

平成26年度

栃木県公立小中学校事務職員

研修会並びに総会



平成26年5月30日（金）、平成26年度栃事研研修会並びに総会が宇都宮市文化会館小ホールにおいて開催されました。

開会式には栃木県教育委員会をはじめ多くのご来賓の皆様に出席を賜りました。

総会では昨年度の事業報告、決算報告、会則改正案及び本年度の事業計画、予算案についてご審議いただき、つつがなく承認されました。

引き続き行われた研修会では、全事研研究開発部理事の星野圭子様をお迎えし、「組織開発を促す人材育成の在り方」についてご講話いただきました。

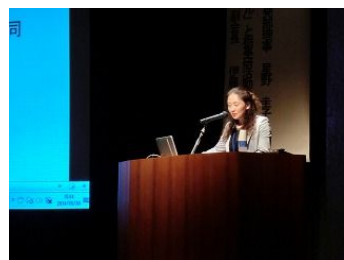
その後、栃事研伊藤副会長より「栃木県公立小中学校事務共同実施推進のモデル」と栃事研活動の展望について説明がありました。



全事研研究開発部理事の星野圭子様より、全事研での研究の中で、学校マネジメントに関わる事務職員の在り方や、地域学校経営に関わる事務職員の役割とその具体的な方策について、説明いただきました。

また、組織にはマネジメントが存在し、異なる価値観をもった人々が目指す子ども像に向かってベクトルを同じ方向にするためには、その力の向上が必要不可欠であると述べられ、評価を中心とした人材育成について、学校事務部経営計画、学校評価など勤務校での取り組みを交えてわかりやすくご説明いただきました。

最後に静岡大会について、ぜひ足を運んで人材育成について理解を深めていただきたい、と述べられました。



栃事研伊藤副会長より、とちぎの共同実施の全県実施に向けての課題や、栃事研としての取り組みについて説明がありました。

まず、「とちぎ学校事務ビジョン」における解決すべき3つの課題について、栃事研の各専門部での取り組みの紹介と、「栃木県公立小中学校事務共同実施推進のモデル」が通達されるまでの経緯と、この「モデル」の概要説明がありました。さらに、ビジョン推進チームが作成したリーフレット「とちぎの共同実施」について、作成のポイントや内容が説明されました。最後に、共同実施の全県実施推進に向け、各自が動き始めたことを認識し、各市町事務研で積極的に課題解決に向けて取り組みを進めていただきたいとのまとめがあり、終了しました。

